



平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアクリエイト

コード番号 2451 URL <http://www.m-create.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 博彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 栗原 浩一

TEL 055-929-8560

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	2,411	△8.8	△39	—	△47	—	△55	—
24年5月期第3四半期	2,645	0.4	△13	—	△22	—	△145	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	△10.86	—
24年5月期第3四半期	△28.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第3四半期	1,595	600	37.7
24年5月期	1,831	656	35.8

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 600百万円 24年5月期 656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,205	△8.4	△24	—	△36	—	△45	—	△8.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期3Q	5,153,700 株	24年5月期	5,153,700 株
② 期末自己株式数	6,098 株	24年5月期	5,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5,147,852 株	24年5月期3Q	5,148,302 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料4ページ)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代に対する期待感から急激な円安、株価上昇が進み、また復興需要を背景に緩やかながら回復の傾向が見られるものの、欧州債務危機の長期化、中国をはじめとするアジア経済の停滞の影響により、国内経済は依然先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢の中、消費者の生活防衛意識や節約志向が根強く、当社が主力事業としている余暇産業の業界は、低価格競争が激化するなど大変厳しい状況で推移いたしました。

当社は、引続き「お客様第一主義」「重点主義」「事業構造の変革」を基本方針とし、店舗における「快適な時間と空間」を提供することに注力するとともに、各種改装、設備投資を推進してまいりました。

なお当社は、店舗における不特定多数の方を対象としたサービス業の単一セグメントであるため、当第3四半期累計期間における事業別の業績を記載いたします。

事業部門		販売高(千円)	前年同期比(%)
マルチメディア カフェ事業	直営事業	1,612,643	89.5
	フランチャイズ事業	21,016	67.0
	小計	1,633,660	89.1
カラオケ事業		631,028	94.0
その他事業		147,059	104.7
合計		2,411,748	91.2

## ① マルチメディアカフェ事業

マルチメディアカフェ事業は、直営事業及びフランチャイズ事業の合計で売上高は1,633百万円(前年同期比89.1%)となりました。

## (直営事業)

マルチメディアカフェ直営事業は、「お客様のリクエストにお応えできる充実したサービスの提供」と「明るく開放感があり競争力のある店舗」を目指し、接客力の向上、清掃強化といったサービスの基本であるQSC(商品品質・サービス・清潔さ)教育を継続し、合わせて各種営業施策を実施してまいりました。

設備投資に関しましては、電力料金の値上げに対応するため、キュービクル常時監視システムを導入し使用電力の「見える化」及びLED照明等の省エネ設備への切替を推進しました。

同時にQSC向上を目的にトイレ衛生設備のリフレッシュを実施してまいりました。また、麻雀格闘倶楽部のコンバージョンキットによるバージョンアップやオンラインダーツへの入替・バージョンアップを積極的に推進いたしました。

店舗数につきましては1店舗の閉店があったことにより、前事業年度末より1店舗減少した33店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,612百万円(前年同期比89.5%)となりました。

(フランチャイズ事業)

マルチメディアカフェフランチャイズ事業は、日々の営業活動から生じるロイヤルティ収入及び備品販売を売上高に計上しております。店舗数につきましては3店舗の閉店があったことにより、前事業年度末より3店舗減少した6店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は21百万円（前年同期比67.0%）となりました。

②カラオケ事業

カラオケ事業は、一部の地域で競争環境は厳しさを増しているものの、接客レベルを上げるQSC教育を継続してまいりました。設備投資に関しましては、最新機種の通信型カラオケ機器を全社で積極的に導入し、提供サービスの向上を図ってまいりました。店舗数につきましては当第3四半期累計期間において変動はなく、前事業年度末と同数の13店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は631百万円（前年同期比94.0%）となりました。

③その他事業

その他事業として短時間で高品質なサービスを低料金で提供する美容室「イレブン・カット」を株式会社エム・ワイ・ケーとエリアフランチャイズ契約を締結し、愛知県・静岡県内に合計6店舗を運営しており、引続き認知度を高める施策を講じてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は147百万円（前年同期比104.7%）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,411百万円（前年同期比91.2%）となりました。一方、売上原価、販売費及び一般管理費は、全社的な経費削減活動の推進により2,450百万円（前年同期比92.2%）となりました。

その結果、営業損失は39百万円（前年同期は営業損失13百万円）、経常損失は47百万円（前年同期は経常損失22百万円）となりました。また、繰延税金資産の変動等により、四半期純損失は55百万円（前年同期は四半期純損失145百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より236百万円減少した1,595百万円となりました。これは主に現金及び預金170百万円の減少によるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より180百万円減少した994百万円となりました。これは主に借入金及び社債76百万円の減少によるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純損失55百万円の計上により、前事業年度末より55百万円減少した600百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績に関しましては、今後も厳しい経済不況が継続されると予想されることを勘案し、平成25年1月15日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成25年3月8日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

このような状況のもと、当社といたしましては、引続きQSC（商品品質・サービス・清潔さ）教育の徹底により店舗運営力及び競争力強化を重点課題とし対策を講じてまいります。より一層の全社的な経費削減活動を推進し、収益力向上に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	409,669	238,807
売掛金	4,407	2,680
原材料及び貯蔵品	21,296	23,088
その他	111,290	74,183
貸倒引当金	△208	△144
流動資産合計	546,455	338,616
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	598,952	591,485
リース資産（純額）	239,874	227,785
その他（純額）	64,019	49,510
有形固定資産合計	902,846	868,780
無形固定資産		
	4,781	8,904
投資その他の資産		
敷金及び保証金	358,004	352,953
その他	17,109	24,389
投資その他の資産合計	375,113	377,342
固定資産合計	1,282,741	1,255,027
繰延資産	2,538	1,565
資産合計	1,831,736	1,595,209



(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,359	34,682
1年内返済予定の長期借入金	160,080	163,472
1年内償還予定の社債	70,000	30,000
リース債務	141,181	138,388
未払金	170,017	146,109
未払法人税等	13,635	6,520
その他	57,146	16,895
流動負債合計	646,420	536,068
固定負債		
社債	60,000	45,000
長期借入金	206,527	181,405
リース債務	185,219	155,943
退職給付引当金	31,351	30,857
負ののれん	541	—
その他	45,055	45,000
固定負債合計	528,694	458,206
負債合計	1,175,114	994,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,215	429,215
資本剰余金	335,167	228,444
利益剰余金	△106,722	△55,912
自己株式	△727	△762
株主資本合計	656,931	600,984
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△310	△49
評価・換算差額等合計	△310	△49
純資産合計	656,621	600,934
負債純資産合計	1,831,736	1,595,209

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	2,645,733	2,411,748
売上原価	2,434,757	2,248,662
売上総利益	210,975	163,085
販売費及び一般管理費	224,515	202,309
営業損失(△)	△13,539	△39,223
営業外収益		
設備賃貸料	35,401	16,650
受取手数料	4,190	7,619
広告収入	6,392	4,435
負ののれん償却額	1,625	541
その他	4,295	2,808
営業外収益合計	51,904	32,055
営業外費用		
支払利息	25,889	15,423
設備賃貸費用	28,835	20,133
その他	5,686	4,790
営業外費用合計	60,412	40,347
経常損失(△)	△22,047	△47,515
特別損失		
固定資産除却損	12,387	727
減損損失	79,945	—
リース解約損	22,458	50
特別損失合計	114,791	777
税引前四半期純損失(△)	△136,839	△48,293
法人税、住民税及び事業税	5,749	5,043
法人税等調整額	3,016	2,575
法人税等合計	8,766	7,619
四半期純損失(△)	△145,606	△55,912

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月17日開催の定時株主総会の決議により、資本準備金を106,722千円取り崩し、その他資本剰余金に振替いたしました。また、その他資本剰余金106,722千円で繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。この結果、資本剰余金が106,722千円減少し、利益剰余金が106,722千円増加いたしました。